



【今回の学校だよりは、電子媒体のみでの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。()】

保護司の武田和喜先生ありがとうございました!

先日、12月2日(火) 地域の子どものためにご尽力いただいている飯塚保護区保護司会の15名の皆様と飯塚市内の小中学校の校長先生との研修会が飯塚市役所で行われました。SNS のトラブルと事件の現状についてを警察から県教育庁筑豊教育事務所教育相談室長の立石 彰先生の講話を聴き、保護司の方々と学校現場が手を携えて悩める青少年の心の支えとなって時に優しく時に叱咤激励をして見守る決意を固めたところです。

飯塚東地区では、飯塚市の飯塚分区長をつとめていらっしゃる保護司の武田和喜様に、30年以上保護司としてご活躍中であり、青少年の立ち直りにどれだけご苦労を重ねられたか数えきれないくらい青少年を立ち直らせて来られました。そのようにお忙しい中、武田和喜先生は、日本の行政機関である法務省との関わりをもたれてあり、六年生が思い思いにつづつ「社会を明るくする運動作文コンクール」もお世話していただいています。一昨日は、六年生の作文を賞賛していただいたうえに、記念品や参加賞を届けに来てくださいました。本校六年生の皆さんの力を合わせれば、社会の未来は明るく輝きます。飯塚市内の六年生1000人の2000の瞳があれば、DVを受けたり、詐欺に引っかからなかったり平和な社会に近づきます。授業中子ども達と出会わせられなかったことが残念ですが、昨日、ジャンプ大会の練習後にあつまってもらい武田和喜先生の思いを伝えることができたことをうれしく思います。インタビューさせていただいた時にいただいた言葉が二つあります。それは、①つめに『決して嘘(うそ)をつかない人になってほしい。』とおっしゃいました。「嘘を言ってしまうと次から次に嘘をつかなければいけなくなる。最後に嘘はばれます。」②つめに、『親は「うちの子に限って絶対まちがいはない。」という考えは捨ててください。』間違えるのが人であり、反省すれば救われるし、次の明るい人生に進むことができる。なのに親がかばってその場をしのいでも、反省できなかった子はまた同じことを繰り返すものである。』とおっしゃいました。私は、「おっしゃる通りです。絶対死にたくないですものね。勉強になりました。」と誓いました。武田和喜先生。今後どうか地域の子どもの温かくも厳しい関わりをよろしくお願い致します。()

P.s.私には武田さんという教え子が数人いました。どの子も、勇気があって立派でした。特に野球を習っていた武田さんは、周りのお友達が騒いでいるのを注意しても逃げることなく私を見つめました。「悪いことしてないなら武田君みたいに逃げんはすだろ?」とか言った記憶もあります。6年ほど前に学年同窓会を開いてくれた時も「なんで先生は厳しかったんですか?」と武田さんが言いますので、「声がかくて怖かったのなら謝るよ。ごめんなさい。でもね、いたずらとかしていない子には自称世界一優しかったよ。いたずらしていた子や、見てただけと主張する子には逃げ回る人生を送ってほしくないから、そんな子たちには「逃げるな!」と言ってただけだよ。逃げてた子はやっぱり先で苦労してたよ。それから、君たちの事じゃないけど、例えば石を投げられてけがをして「ごめん。」「いいよ。」じゃ済まんてしょ。相手の親の気持ちや本人になりかわって叱ってたんだよ。失明でもさせてその子の人生背負える? 君たちは逃げたりしてないからこれからの人生も明るいし成功しますよ。話に来てくれてありがとう。」のようなお話を本当にしました。その勇気ある武田君は、少年野球や学生野球でエースとして大活躍していたのを遠くで、新聞なんかでも見守って応援していたのを覚えています。武田さんと聴くと屈託のない笑顔の小学校時代の地域で自慢の野球少年が浮かびます。サウスポーだったっけ。美しくシャープで投げっぷりのいい投手でした。() ☆



明るい社会はこの子たち6年生のパワーでつくられます

保護司の武田和喜先生。

6年生の子ども達は記念品で
思い出を綴ったり、ファイリン
グしたりすると思います。



6年2組で特別活動：学級活動の研究授業がありました。



6年2組は議提案者の稲富さんの提案を次のように私は理解した。「2学期間様々な行事や学習活動に取り組んできて12月に突入した。終業式を10日後に迎える今日、6年2組の仲間と仲をもっと深くするためにも、そして、小学校生活の思い出を仲間と創りたい。そこで、クリスマスが近づ



いた今、前回したハロウィンパーティをこえる楽しいクリスマスパーティを6年2組の担任の平野先生と仲間たちと成功させたい。」

先生の理想とする子ども達の授業後の姿である今日の学級会の主眼は次のように記されていました。【クリスマスパーティーについて学級の中がより深まるためにどのようなことをすればよいか話し合うことを通して、進んで話し合いに参加し、折り合いをつけて集団決定することができるようにする。】結果は素敵な結末を迎えました。

『体調が悪くてお休みしている何人かいる友達のためにも、なるべくやったことのあるレクリエーション種目と初めてだけど意外と取り組みやすいレクリエーションをクラスみんなの合意で決定したのです。そしてさらに、異なる意見も時間を管理して実施すれば、4つのレクリエーションが全部できるので成功させたいになりました。そして、その19日のパーティの日まで6日間準備ができるから、今日に、クリスマスツリーや飾りをみんなで作って準備をしよう！ということになりました。素敵な学級経営をされているなと思いました。6年2組の皆さんの合意形成できたクラスイベントの成功を祈っております。司会グループさんへ「学級会の計画及び運営お疲れさまでした。全員感想を言うなんて泣かせてくれるよなと思いました。」(〇〇)

今朝の6年生



平野隆洋先生の研究授業がある3校時の1時間前に間違えてお伺いしてしまいました。3組さんからは笑っていただきました。😊